

2024年4月22日
JX金属株式会社

資源循環分野における三菱商事株式会社との合併会社の設立について

JX金属株式会社(社長:林 陽一、以下「当社」)は、三菱商事株式会社(社長:中西 勝也、以下「三菱商事」)と廃家電・廃電子機器や廃車載用リチウムイオン電池等の非鉄金属の資源循環に関する合併会社(以下「新会社」)を設立し、2024年7月を目途に事業を開始することについての契約を締結いたしました。

脱炭素化の進展に伴い、銅やレアメタルなどの金属資源の需要は今後さらに拡大していくことが見込まれています。こうした中、自動車業界や家電・電子機器業界を中心に、使用済み製品を回収・再資源化し、同一素材として再利用するクローズドループ・リサイクルへの関心が高まっていますが、その処理は必ずしも容易ではなく、実現にあたっては、製品ライフサイクルに関わるサプライチェーン全体が連携して資源効率性を高める仕組みを整備することが不可欠です。これは金属資源の大半を輸入に依存している日本において、特に重要な意義を有しています。

このような背景のもと、このたび当社は、当社および当社100%子会社のJX金属商事株式会社(社長:六信 厚、以下「JX金属商事」)がこれまで行ってきた銅・貴金属リサイクルと車載用リチウムイオン電池リサイクルに関する事業^{*1}を分割して三菱商事とともに新会社を設立し、さらなる資源循環の推進を目指すことといたしました^{*2}。三菱商事の有する産業横断型のグローバルなネットワーク・知見を活用することにより、リサイクル原料の集荷強化、国内外リサイクラーと協働したリサイクルプロセス変革とデジタル化を推進いたします。さらには、非鉄金属の資源循環を軸に、自動車 OEM や総合電機メーカー等が抱える課題に対するソリューションを提供し、サーキュラーエコノミー実現への貢献を目指してまいります。

また、新会社営業開始後のJX金属商事では、当社グループの半導体材料・情報通信材料に関わる各部門との営業面、販売面での連携を強化し、機能の拡充を図ります。当社グループのフォーカス事業の一翼を担う中核商社として、機動性を生かした事業運営をより一層推進し、当社グループ全体の成長に貢献してまいります。

今後も当社グループは、「2040年JX金属グループ長期ビジョン」で掲げる成長戦略の確実な実行にグループ一丸となって取り組んでまいります。

以上

■新会社概要

① 商号	JX金属サーキュラーソリューションズ株式会社
② 所在地	東京都港区虎ノ門二丁目 10 番 4 号
③ 代表者	未定
④ 事業内容	廃家電・廃電子機器や車載用リチウムイオン電池等の非鉄金属の資源循環事業
⑤ 資本金	未定
⑥ 合併事業開始*3	2024 年 7 月(予定)
⑦ 出資比率	JX金属 80%、三菱商事 20%

■JX金属概要(2024 年 4 月 1 日現在)

① 商号	JX金属株式会社
② 所在地	東京都港区虎ノ門二丁目 10 番 4 号
③ 代表者	代表取締役会長 村山 誠一 代表取締役社長 林 陽一
④ 事業内容	薄膜材料事業、タンタル・ニオブ事業、機能材料事業、金属・リサイクル事業、資源事業
⑤ 設立年月日	2002 年 9 月 27 日

■三菱商事概要(2024 年 4 月 1 日現在)

① 商号	三菱商事株式会社
② 所在地	東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 1 号
③ 代表者	代表取締役社長 中西 勝也
④ 事業内容	地球環境エネルギー、マテリアルソリューション、金属資源、社会インフラ、モビリティ、食品産業、S.L.C.、電力ソリューションの 8 グループ体制で、幅広い産業を事業領域として多角的なビジネスを展開
⑤ 創立年月日	1954 年 7 月 1 日

■JX金属商事概要(2024 年 4 月 1 日現在)

① 商号	JX金属商事株式会社
② 所在地	東京都新宿区荒木町 13-4
③ 代表者	代表取締役社長 六信 厚
④ 株主	JX金属株式会社 100%
⑤ 事業内容	電子材料用金属圧延品の販売・部品加工サービス、基礎化学品・機能化学品の販売、電子材料用高純度メタル・レアメタルの販売、非鉄金属スクラップの集荷、有価物の回収、電子材料用めっき薬品の販売・開発・製造
⑥ 設立年月日	1948 年 2 月 20 日

*1 新会社へは、当社で行うリサイクル原料集荷事業の一部および廃車載用リチウムイオン電池リサイクルに関する事業ならびにJX金属商事が行うリサイクル原料集荷事業を移管させます。併せて、当社の100%子会社であり、現在廃車載用リチウムイオン電池リサイクルに関する実証試験を行っているJX金属サーキュラーソリューションズ株式会社は、新会社の100%子会社となるとともに、名称をJX金属サーキュラーソリューションズ敦賀株式会社に変更します。さらに、JX金属商事株式会社の100%子会社である JX 金属高商株式会社についても新会社の100%子会社となります。

*2 JX金属グループでは“サステナブル銅パー・ビジョン”のもとで、銅製錬におけるリサイクル原料の配合比率を飛躍的に高める「グリーンハイブリッド製錬」のためのリサイクル原料の増集荷・増処理に取り組んでおり、2040 年にリサイクル原料比率を 50%以上とすることを目標としています。新会社を通じてリサイクル原料の集荷力を向上させ、目標実現に向けた取り組みを加速させてまいります。“サステナブル銅パー・ビジョン”の詳細は、JX金属の 2022 年 8 月 3 日付プレスリリース「[“サステナブル銅パー・ビジョン”の策定について](#)」および同プレスリリースの別紙「[サステナブル銅パー・ビジョン JX金属が目指すサステナブルな銅の姿](#)」をご覧ください。

*3 当事者間で検討を進める中で、日程を変更する場合があります。